



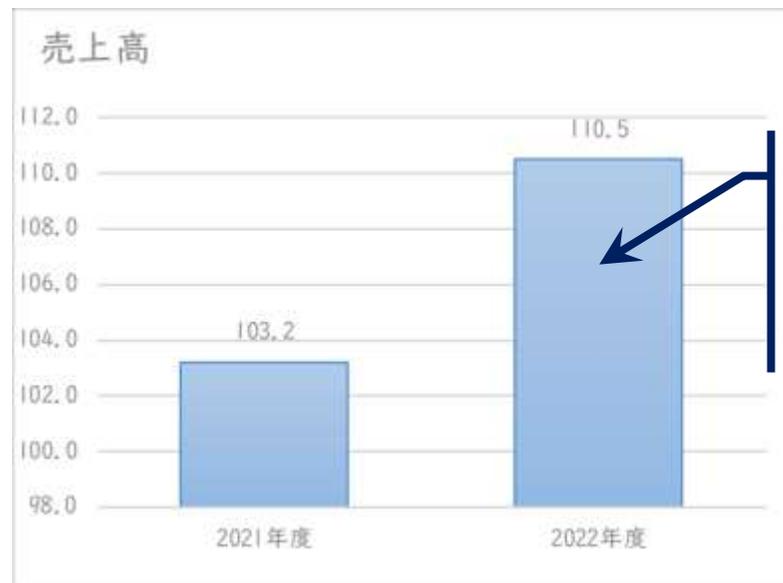
 サン・ライフグループ

# 第4回 定時株主総会

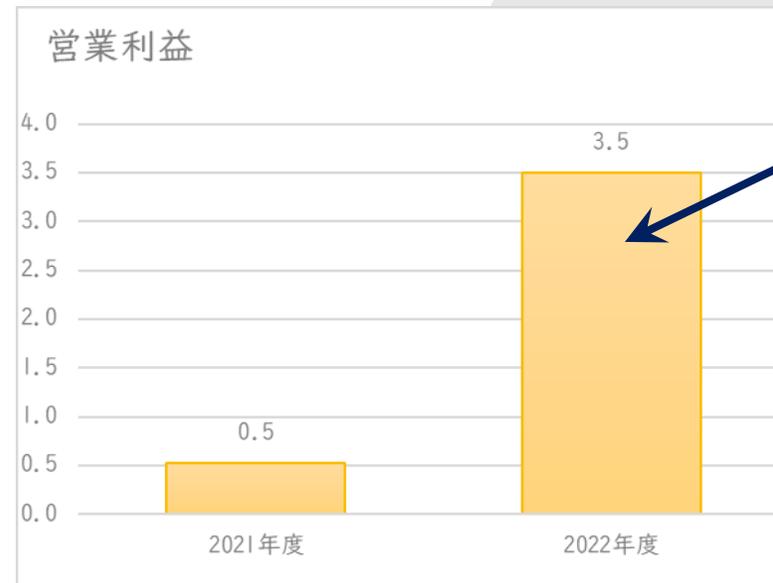
サン・ライフホールディング 事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

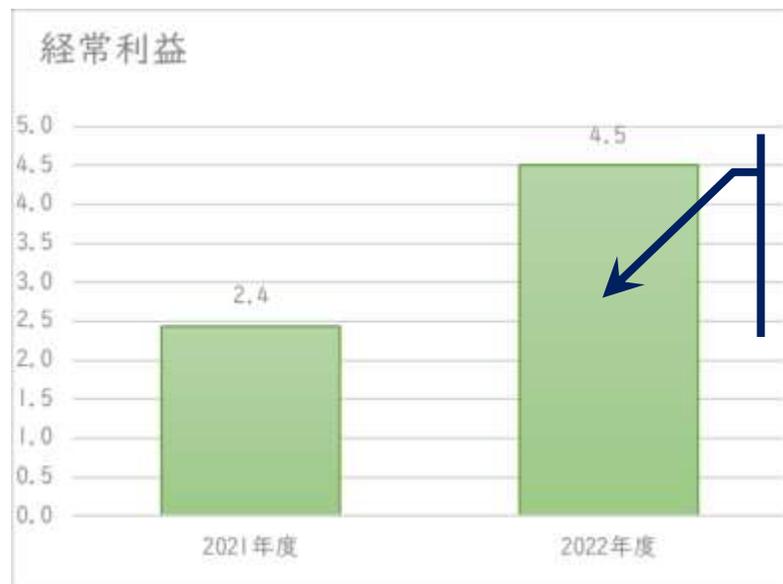
# 経営成績の概要



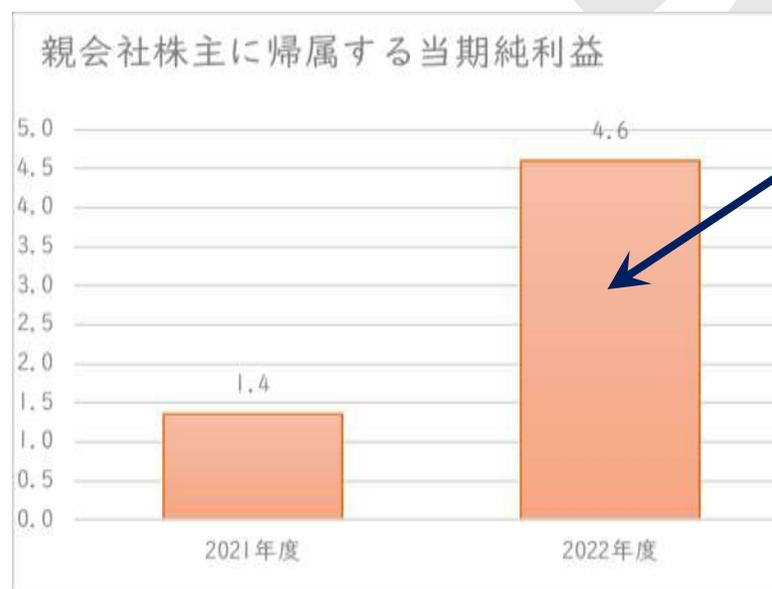
**売上高**  
110.55億円  
7.1%増↑



**営業利益**  
3.54億円  
559.4%増↑

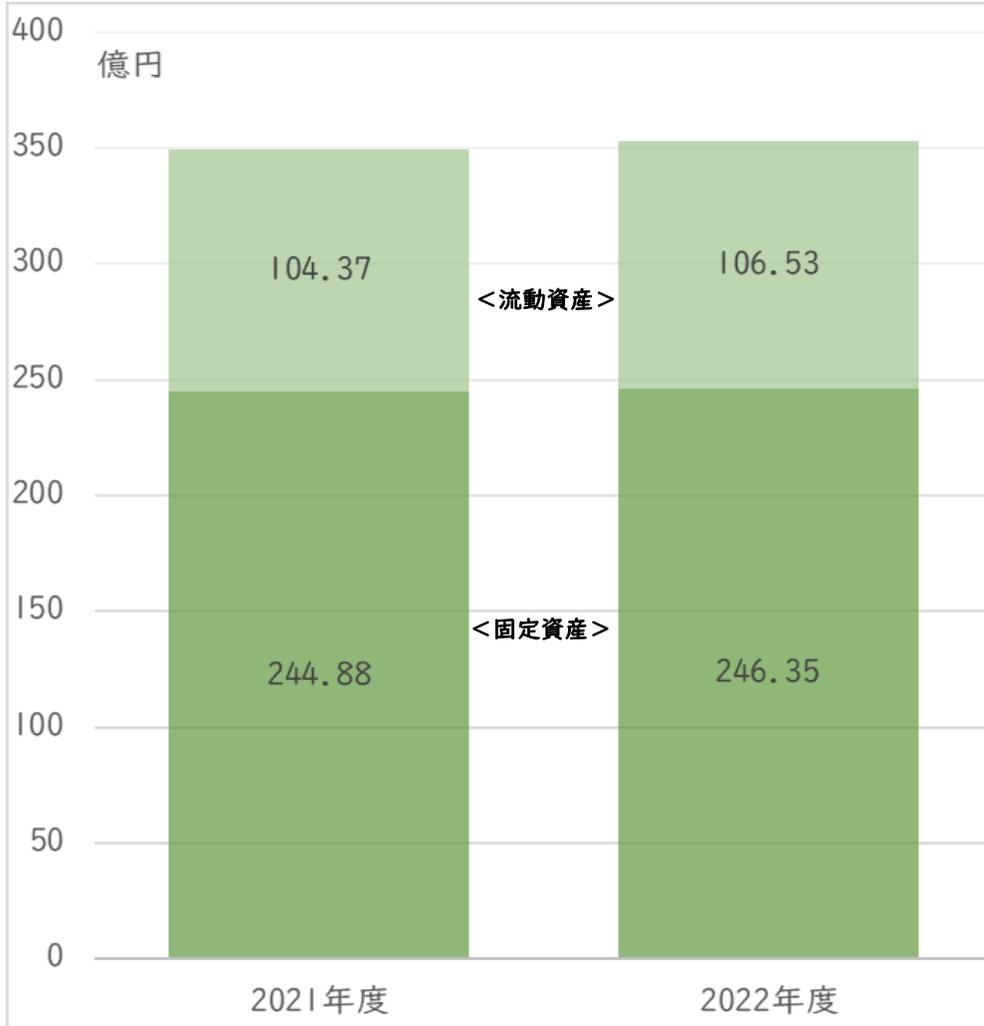


**経常利益**  
4.54億円  
85.4%増↑



**当期利益**  
4.06億円  
200.2%増↑

# 財政状態の概況（資産の部）



総資産

352億87百万円（前年度比 3億62百万円増加）↑

## POINT

《流動資産》

現金及び預金の増加

：2.05億円

《固定資産》

土地及び建物の取得による

有形固定資産の減少：0.44億円

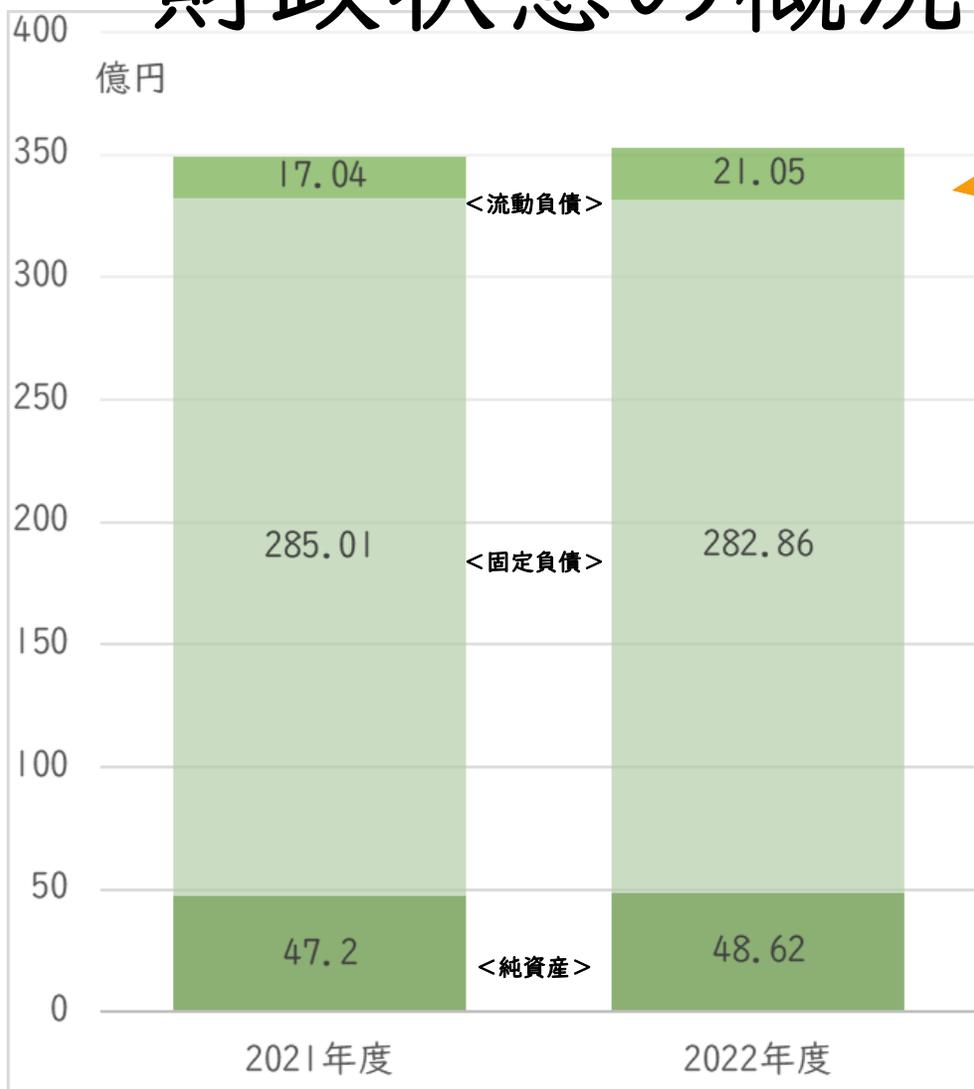
のれんの減損等による無形固定資産の減少

：2.88億円

投資有価証券の取得による増加、繰延税金資産の増加等、投資その他の資産の増加

：4.89億円

# 財政状態の概況（負債・純資産の部）



負債…303億91百万円（前年度比 1億86百万円増加）

## POINT

### 《流動負債》

買掛金、未払金及び未払法人税等の増加 : 4.01億円

### 《固定負債》

前払式特定取引前受金及びその他固定負債の減少等 : 2.14億円

純資産…48.95億円（前年度比 1.75億円増加）

## POINT

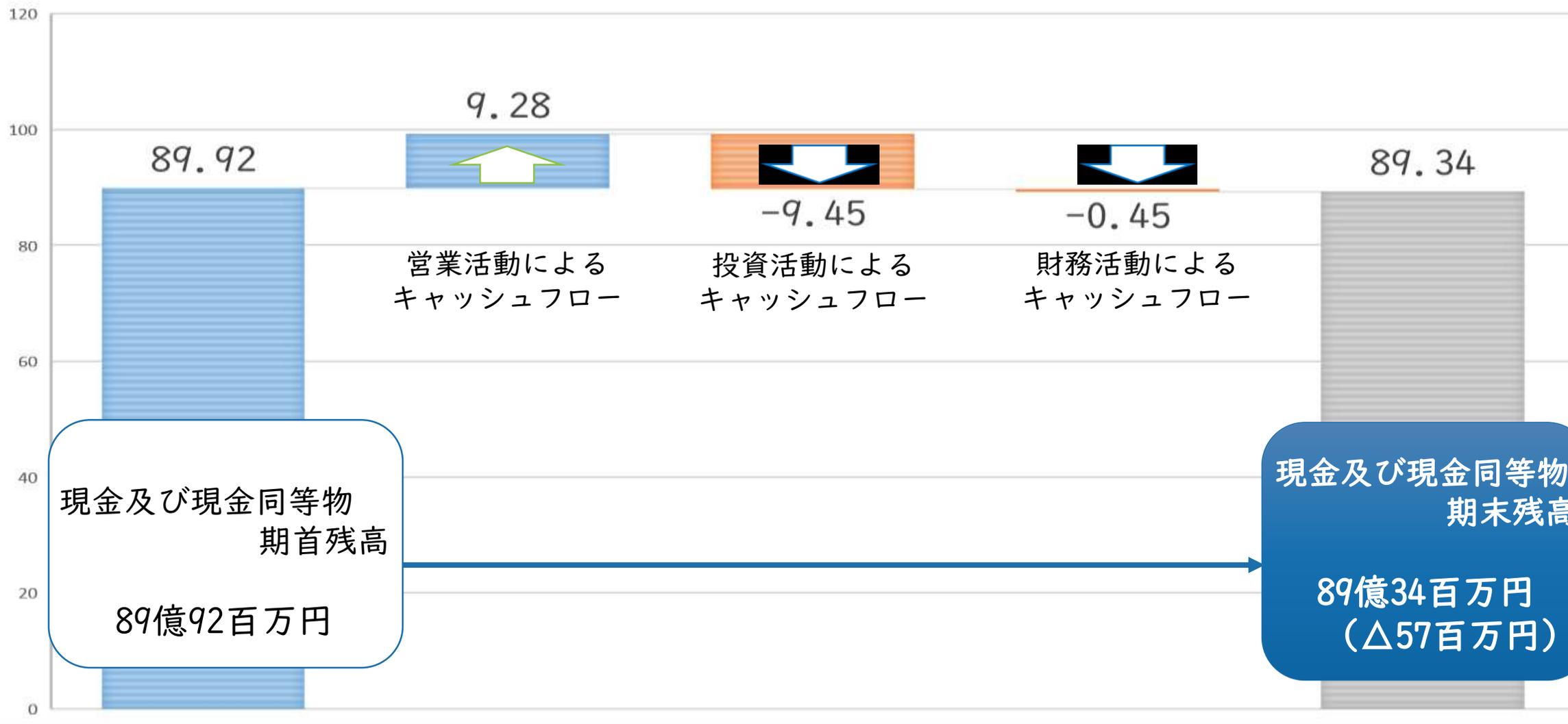
親会社株主に帰属する当期純利益計上 : 4.06億円

配当金の支払 : 1.95億円

その他有価証券評価差額金の増加 : 0.16億円

# キャッシュフローの概況

2021年4月1日～2022年3月31日 キャッシュフロー増減 (単位: 億円)



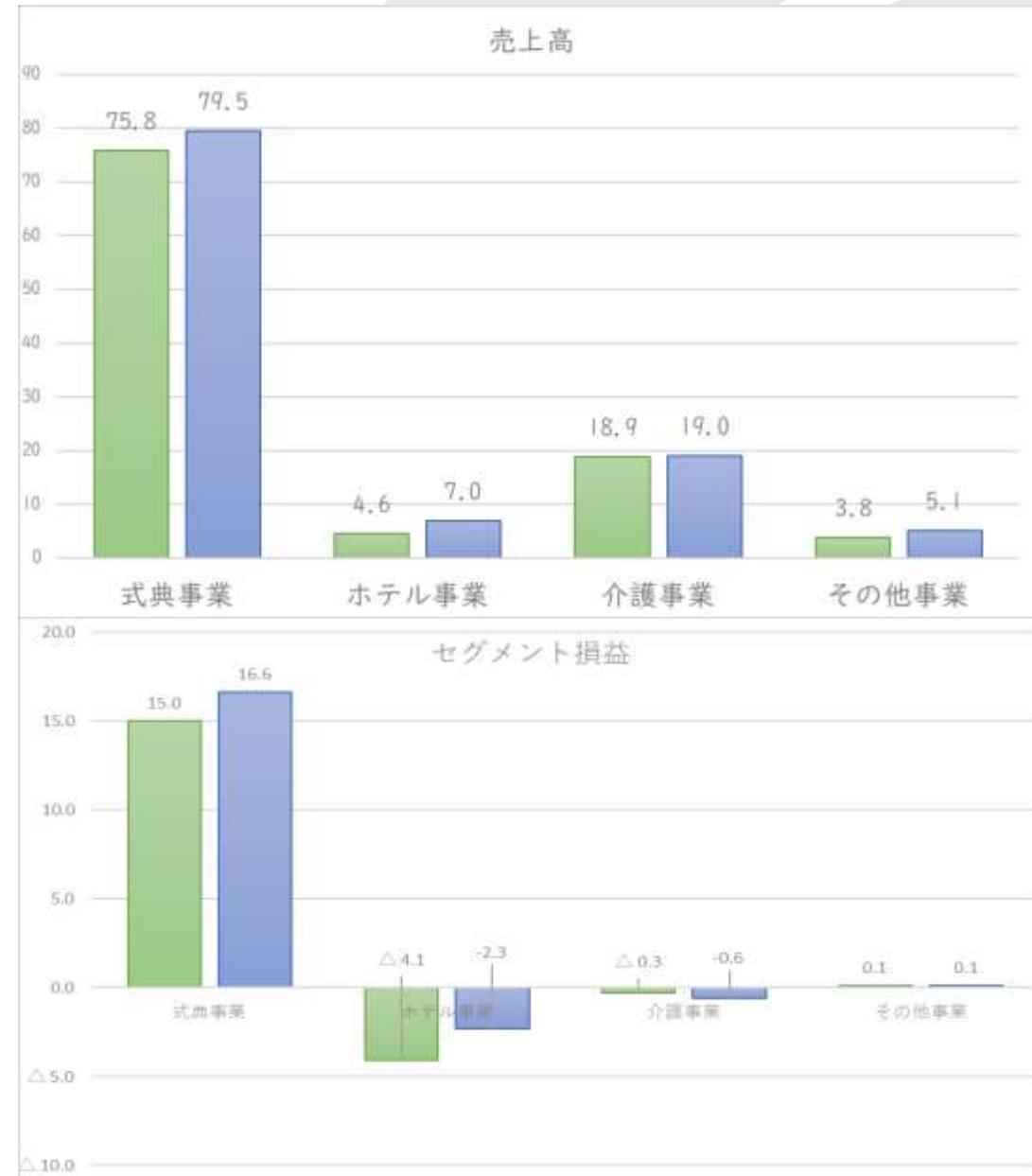
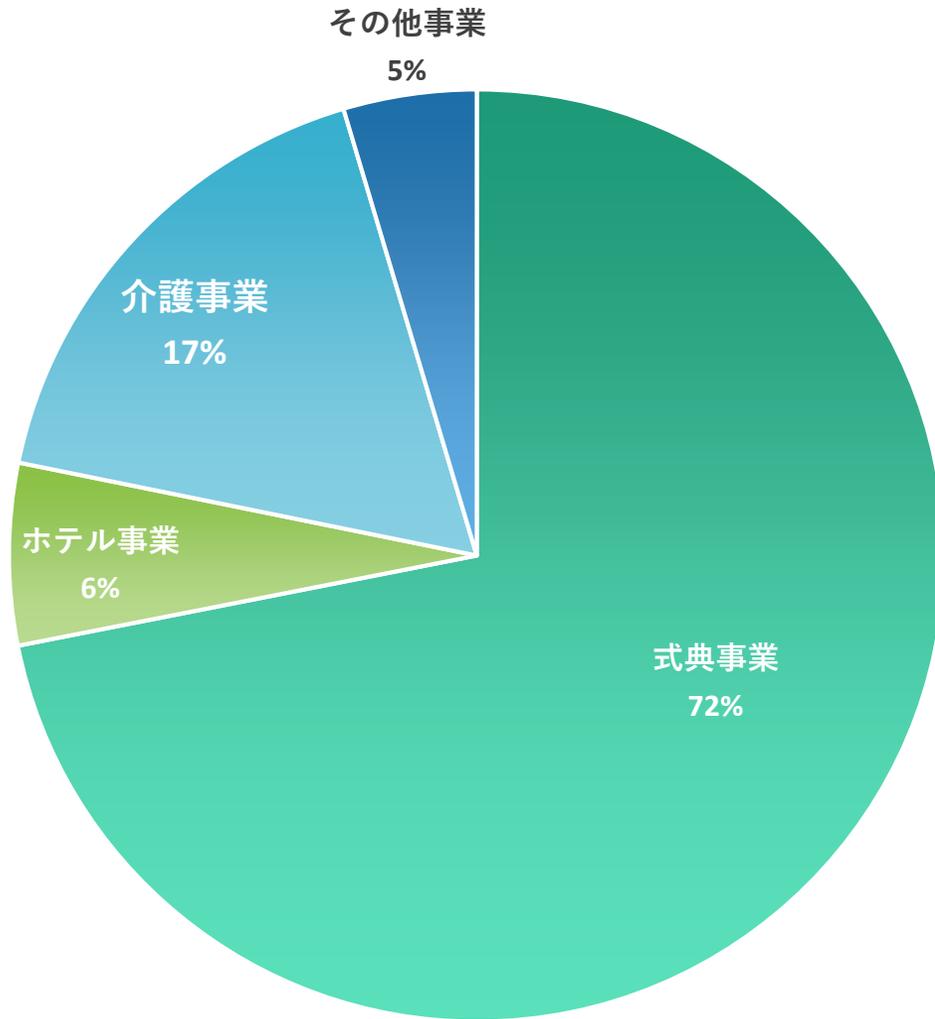
# 第4期 連結キャッシュフロー計算書 (概要)

単位：百万円

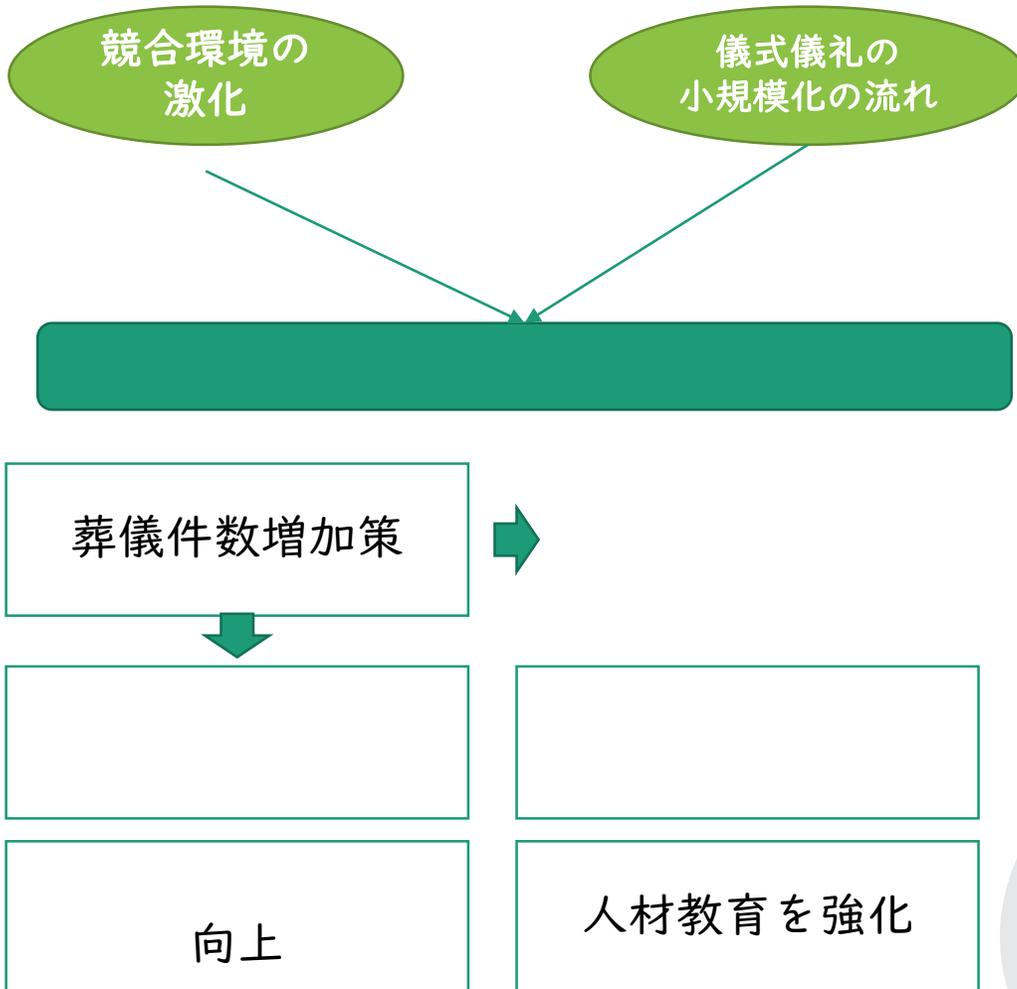
区分		
	9,571	8,992
営業動によるキャッシュ・フロー	371	928
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	242	359
	579	580
減損損失		108
のれん償却額	173	173
投資動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出		
投資有価証券の取得による支出		
現金及び現金同等物 期残高	8,992	8,934

# セグメント概要

2021年度 売上高構成比



# 式典事業



←小田急相模原駅前FH



←ファミリーホール日野



東京霊園



# ホテル事業



# 介護事業



サンガーデン湘南



エミーズ鴨宮

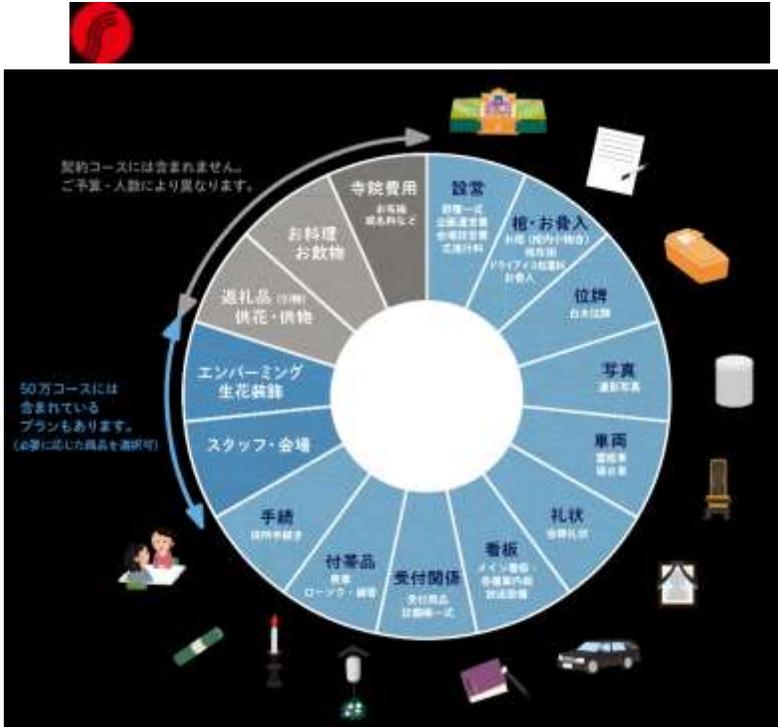


エミーズ東間門



エミーズ原

# その他の事業



サンライフグループ 株式会社 サン・ライフ・ファミリー  
SUN LIFE FAMILY

**入院一時金付定期保険**  
入院一時金 傷害死亡保障 死亡保障

**介護一時金付定期保険**  
介護一時金 傷害死亡保障 死亡保障

**ご葬儀サポートプラン**  
死亡保障 高齢の方 持病・通院中OK



**DUSKIN** ダスキンスキル  
喜びのタネをまこう

**ServiceMASTER.**

プロのお掃除 サービスマスター

**merry maids.**

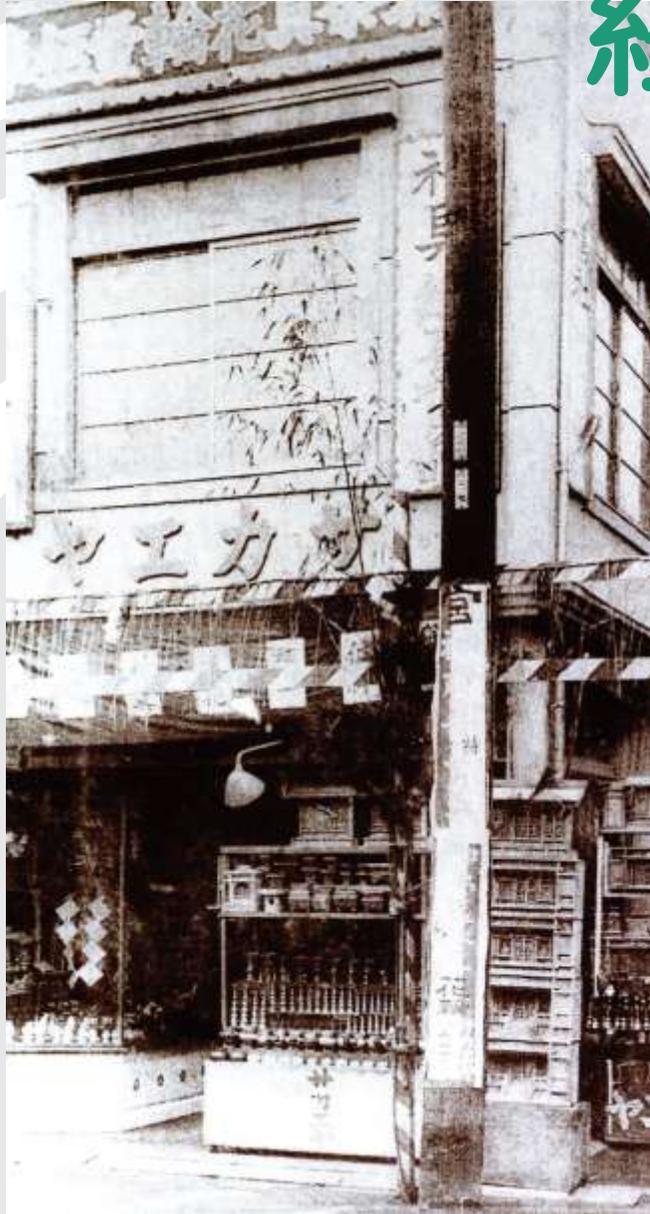
お掃除代行 メリーメイド

緑と花のお手入れ

**Total Green**

庭木のお手入れ トータルグリーン

# 経営基本方針について



 **サン・ライフグループ**

**【社訓】**

**【経営理念】**

私たちサン・ライフグループの基本経営理念は、ライフステージ全般の事柄について、地域の皆様が充実した生活を送れるよう貢献することにあります。

# 当社を取り巻く経営環境について



- ◆新型コロナウイルスまん延拡大  
⇒人流制限による経済活動の停滞



- ◆ウクライナ情勢に端を発する  
世界経済の混乱  
⇒資源価格の急騰  
⇒金利の上昇

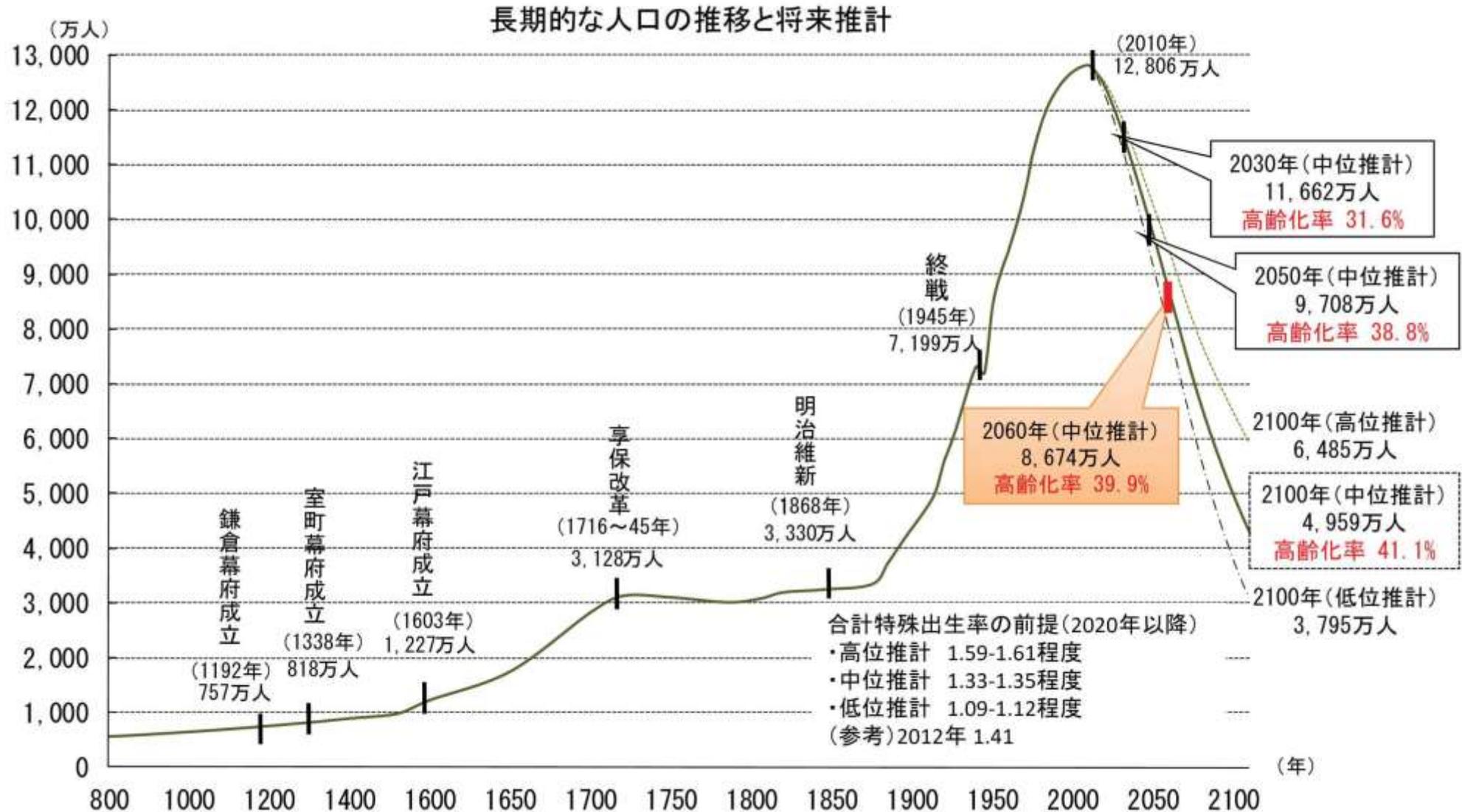


- ◆急速な少子高齢化の進展  
⇒生産年齢人口激減
- ◆総人口の減少  
⇒国内生産力、国際競争力の低下

# 当社グループを取り巻く環境 = VUCA

	状態	
Volatility	しい状態	
Uncertainty		●「副業解禁」や「高齢者の活躍」といった少子高齢化に伴う動き
Complexity		●国によって差がある「キャッシュレス化」の浸透度合い ●既存の枠組みを超えた事業や革新的なアイデア
Ambiguity	い曖昧な状態	●消費者の価値観は急速に変化・多様化

# 我が国における総人口の長期的推移



# Society 5.0

## 新たな社会 "Society 5.0"

5.0



Society 1.0 狩猟



Society 2.0 農耕

4.0



Society 4.0 情報

[内閣府作成]



Society 3.0 工業

3.0



Society5.0 For SDG s

Healthcare in Society5.0

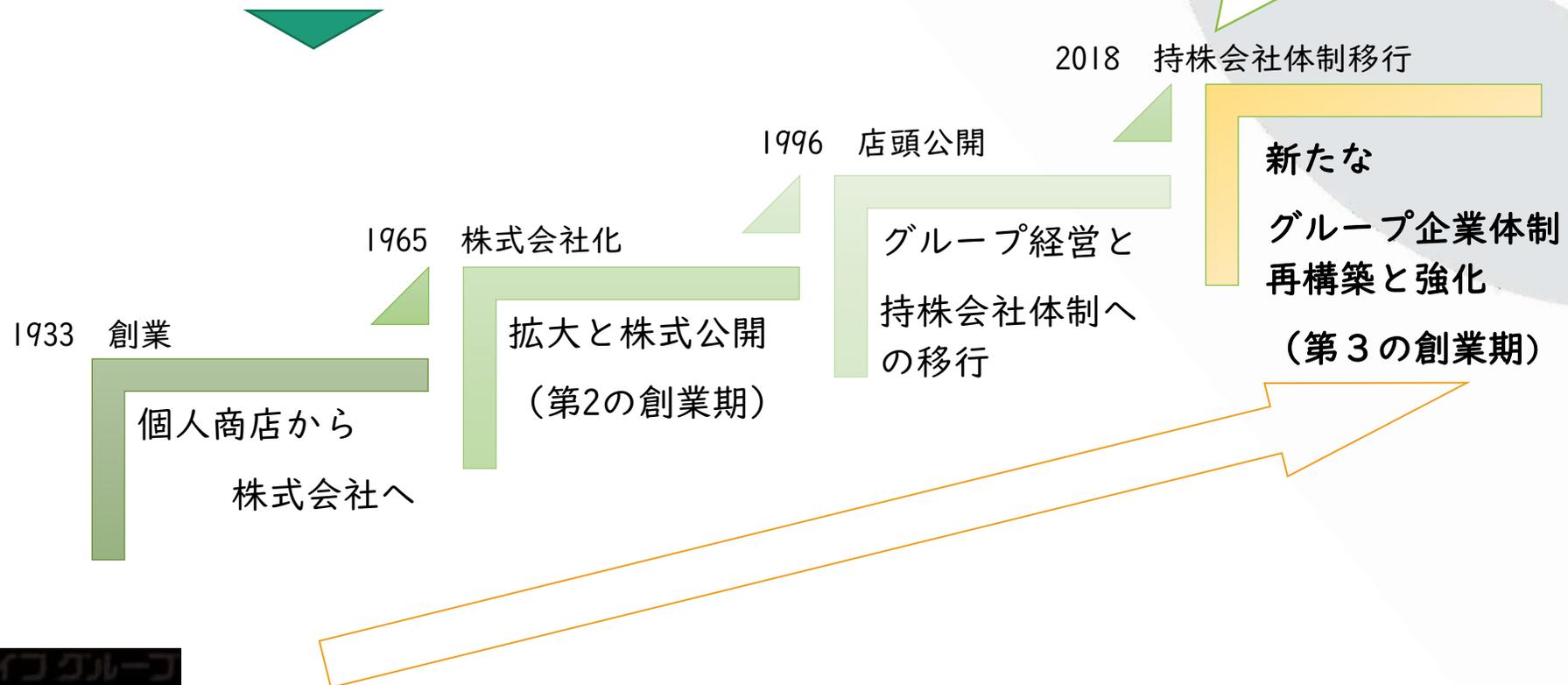
***Tough times bring chance.***

(ピンチはチャンス！)



# 対処すべき課題①【次世代経営陣への事業承継】

- 当社の歩み、経営環境の変遷等に対する的確な歴史認識
- 理念・方針の正確な伝承
- 将来に向けての確固たる明確なビジョン
- 新たな時代を切り開く力強いリーダーシップ



## 対処すべき課題②【「上場持株企業」としてのグループ経営の再構築】



## 対処すべき課題③

### 【強靱な事業基盤の確立】

- ◆ビジネスモデルの再構築
- ◆ホテル・ブライダル事業
- ◆式典事業
- ◆介護事業
- ◆互助会事業
- ◆新規事業

黒字化実現

ブランド戦略再構築

シニアライフ支援に事業領域を拡大

募集から施行へ

積極的な展開

## 対処すべき課題④

### 【経営基盤・財務基盤強化のための経営戦略】

- ◆持株会社化の総仕上げ（事業の再編・再構築）
- ◆人事制度改革と専門性の高い人材の採用・登用
- ◆積極的な事業投資姿勢の継続
- ◆予算・損益管理の精緻・厳格化
- ◆コスト管理の徹底
- ◆キャッシュ・フロー重視の経営
- ◆「労働生産性」の向上

# TOPICS



## 【TOPICS 1】

# 東証市場再編に伴うスタンダード市場への上場とガバナンスの強化（2022年4月）

2022年4月の東証の市場再編

…従来のジャスダック市場からスタンダード市場へ



コーポレートガバナンスコードへのきめ細かい対応

⇒コーポレートガバナンス・ガイドラインの策定等



コードを指針とした更なるガバナンスの強化

時代の変化を的確にとらえ柔軟に対応できる強靱な経営基盤の構築

“聖域なき”断固たる経営改革



企業価値の更なる向上を目指した『攻めのガバナンス』の実践

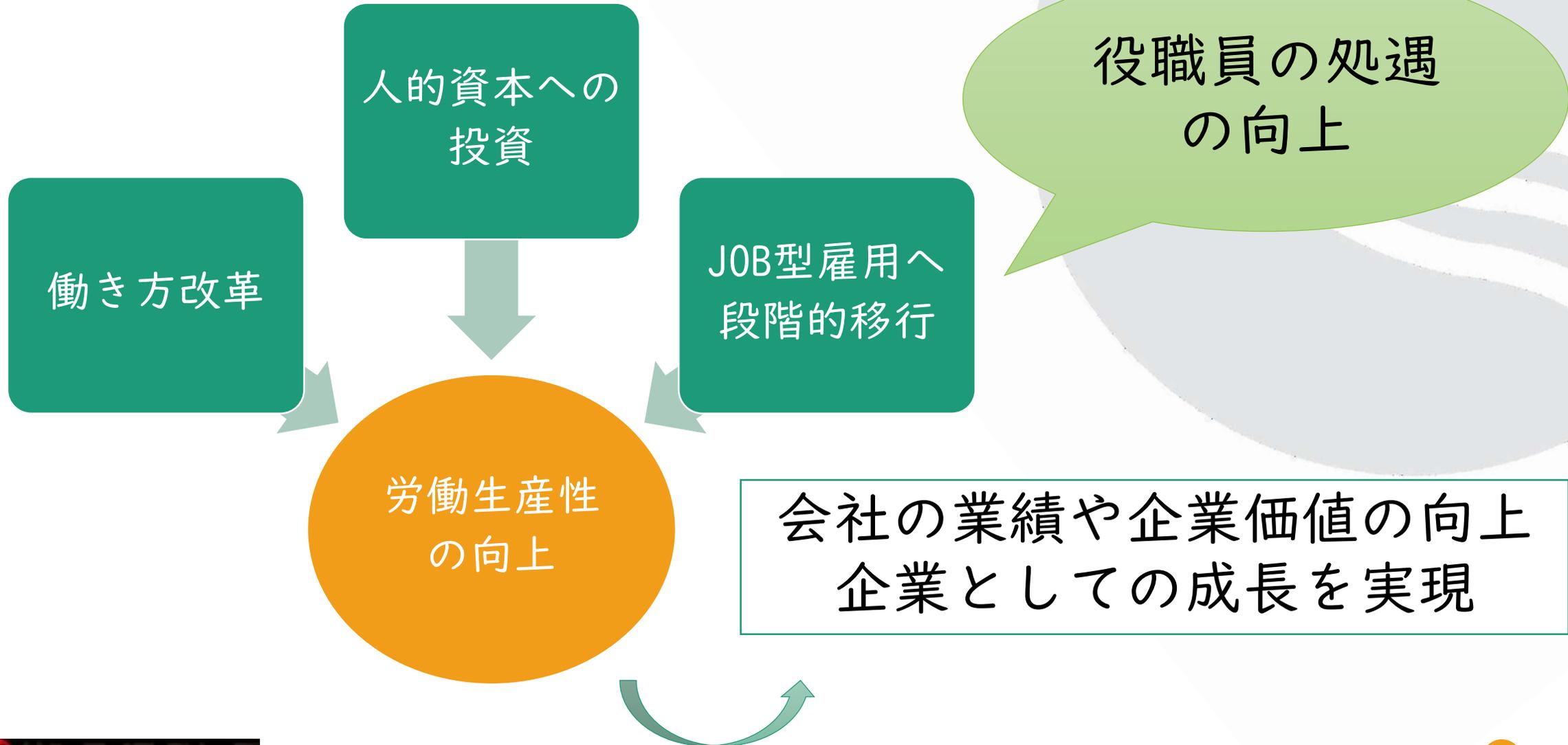
コーポレートガバナンス・ガイドライン 2021

12月31日

サコ・ライフグループ

## 【TOPICS 2】

### 労働生産性を上げるための「人事制度改革」の実施



## 【TOPICS 3】

# リフレッシュプラザ平塚 ～指定管理者として参画

「[リフレッシュプラザ平塚](#)」は、平塚市環境事業セン



リフレッシュプラザ平塚外観



健康増進室  
(水中トレーニング槽)

トレーニング室



## 【TOPICS 4】

# 好調を維持する霊園事業と既存事業との相乗効果

### 高尾山観光開発（東京霊園）

～一貫した質の高いグリーンワークの実現



東京霊園は、1964年の開園以来、宗教不問の高級公園墓所として高いブランド力を維持しており、八王子地区を中心に優良なご契約者基盤を確立しています。

一方、当社グループは、主に神奈川県湘南・県央地区並びに八王子を中心とする西東京地区において冠婚葬祭互助会会員様向け中心に地域密着型トータルライフサポートサービスを提供しています。

当社グループの既存事業と霊園事業のシナジー効果によるビジネスチャンスの拡大につながっております。

今後ますます当社グループの連結業績に貢献していきます。

霊園事業…従来からある事業であり、それ自体は「新しいビジネス」ではない。



“墓地を売って収益を上げる”という収益モデルも不変



では、なぜ当社グループの将来の事業の柱になる可能性があるのか？



既存のビジネスモデルであるにもかかわらず、旧来の商慣行等を見直すことによって大きなシナジー効果を得ることのできた事例



### 高尾山観光開発（東京霊園）

～M&Aによる相乗効果が生み出された好事例

# 剰余金の配当等の決定に関する基本方針

第四半 期(開 )			
合計			
	144.9%	48.2%	
純資産配 率 連結	4.1%	4.1%	

# 2023年3月期連結業績予想

	(累計)	通期
売上高	5億円	11億円
営業益	0.0億円	5.0億円
	0.0億円	5.0億円
親会社帰属する当期		
株当たり当期利益		

# ご質問等について

株主の皆様から事前にご質問をお送りいただいたものにつきましては、本総会の目的事項に関するご質問で皆様のご関心の高いと思われるものを、当日までに当社IRサイト内の質疑応答ページにてお答えさせていただく予定です。

以下の方法によりご送付、ご送信されることにつきご協力をお願い申し上げます。

なお、いただいたご質問について必ずご回答することをお約束するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

(書面の送付先)

株式会社サン・ライフホールディング 第4回定時株主総会事務局 FAX：0463-21-7269

(電子メールの送付先)

当社IRサイト <https://ir-sunlife.com/> 内



ありがとう  
ございました

[HTTPS://IR-SUNLIFE.COM/](https://ir-sunlife.com/)

社長 武 比 企